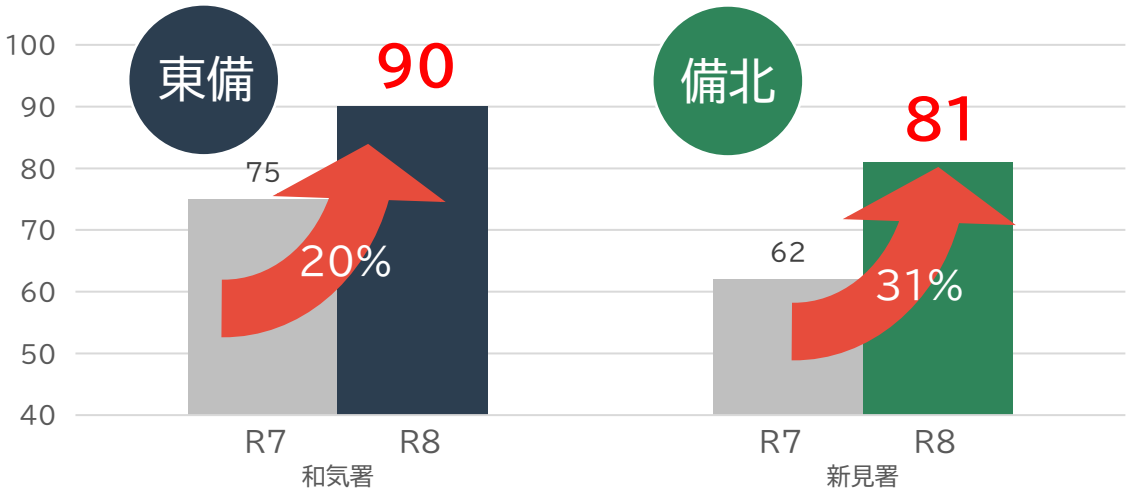
東備・備北地区
労災多発警報



和気労働基準監督署（ 和気町、備前市、赤磐市【東備地区】）と新見労働基準監督署（ 新見市、高梁市、吉備中央町のうち旧賀陽町地域【備北地区】）は、管内で労働災害が増加していることを受け、共同で「労災多発警報」を発令しました。

警報発令期間 ： 令和8年 11 月1日から 12 月 31 日まで

労働災害（9月末速報値）が、昨年から大幅に増加しています！
【 平成 24 年以降　最多 】



（R8.9 未速報値。休業4日以上。新型コロナウイルス感染症によるものを除く）



東備・備北地区のいずれも
50 代以上の労働災害が半数以上を占めています。
エイジフレンドリー指針等を活用し、対策をお願いします。

（エイジフレンドリー指針）

和気労働基準監督署　新見労働基準監督署　（R8.10）

高年齢労働者の安全と健康確保のためのチェックリスト

（エイジアクション 100）

チェックの結果については、次の方法により記入してください。
「○」：取組を既に行っており現行のままでよい。
「×」：取組を行っていない、又は行っているがさらに改善が必要。
「－」：対象業務なし、又は検討の必要なし。

「×」を付した項目のうち、優先度が高いと考える項目にマークをつけ、職場改善計画を作成し、安全衛生委員会等において検討を行い、事業所としての方針を決定した上で、取組を進めてください。

No.	チェック項目	結果	優先度
1	高年齢労働者の対策も盛り込んで、安全衛生対策の基本方針を表明し、安全衛生対策の推進計画を策定している。		
2	加齢に伴う身体・精神機能の低下による労働災害発生リスクに対応する観点から、高年齢労働者の安全衛生対策の検討を行っている。		
3	高年齢労働者による労働災害の発生リスクがあると考える場合に、相談しやすい体制を整備し、必要に応じて作業内容の変更等を行っている。		
4	通路の十分な幅を確保し、整理整頓により通路、階段、出入口には物を放置せず、足元の電気配線やケーブルはまとめている。		
5	階段には手すりを設けるほか、通路の段差を解消し、滑りやすい箇所にはすべり止めを設ける等の設備改善を行っている。		
6	高年齢労働者の身体・精神機能には個人差が大きいことを踏まえて、個々人の状況に応じて作業負荷を調整している。		
7	書面、ディスプレイ、掲示物等の文字の大きさや色合いは、見やすくなるように工夫している。		
8	加齢に伴う身体・精神機能の低下による労働災害発生リスクを低減させるための安全衛生教育を行っている。		
9	治療と仕事の両立を図りながら、安心して働けるように必要な支援や環境整備を行っている。		
10	高齢期になっても元気に働くことができるように、若年時から運動指導、生活習慣指導等の健康教育、健康づくり支援を行っている。		